

おいけだけ
御池岳 (1,247m)

鈴鹿山脈最高峰、山上に広がる天空の日本庭園

特徴	自然環境	御池川の源流域にあたり、南北約 3km、東西数百 m にも及ぶ山頂部はテーブルランドと呼ばれます。多くの池や石灰岩の岩が点在し、その様子は日本庭園と形容されます。 ブナやミズナラなど落葉広葉樹の樹木に加え、「21 世紀に残したい日本の自然 100 選」にも選ばれているオオイタヤメイゲツの群落、石灰岩質特有のフクジュソウやカタクリ、バイケイソウなどの植物も多いです。
	歴史文化	「山上平坦ニシテ三十余池アリ」と古い文献に記されており、雨乞いの神事の山として崇められてきました。地元である君ヶ畑町の人々にとっては、現在も深い関わりのある山です。
	その他	「東近江八景」、「関西百名山」、「花の百名山」に選定されています。御池岳は、山頂に続くボタンプチや奥の平まで足をのばすことをおすすめします。ここからは、T 字尾根ルートや鈴鹿の鋭鋒・天狗堂の眺望も楽しめます。

コース

ミノガ峠～サクラ峠～鈴ヶ岳～ヒルコバ～鈴北岳～御池岳（往復）

< 登り約 3 時間、下り約 2 時間 30 分 >

登山口

御池林道ミノガ峠

駐車場

ミノガ峠周辺

地形的特徴

鈴北岳から御池岳にかけては広大な山上台地で、西側はボタンプチと呼ばれ急な崖を形成しています。鈴ヶ岳からヒルコバは急勾配です。

難易度（ 初心者、 中級者、 上級者； は 0.5 を意味します）

注意事項、
危険な箇所、

サクラ峠～鈴ヶ岳は迷いやすく、また平坦な御池岳山頂部は視界が悪いと迷いやすいので注意が必要です。

備考

冬期には多量の積雪があり、日本アルプス並みの技術が必要です。

ふじわらだけ
藤原岳 (1,140m)

空を仰げば天高くイヌワシが舞い、彩りあふれる花の名山

特徴	自然環境	茶屋川の源流域にあたり、山頂部は緩やかに広がり石灰岩の露岩が点在しています。山頂から少し北に離れた天狗岩が、標高 1,171m で最高点になります。 春のセツブンソウやフクジュソウ、カタクリをはじめ、秋にはトリカブトやテンニンソウ、アケボノソウなど、石灰岩質特有の花々を楽しめます。
	歴史文化	登山口に当たる茨川集落は、昭和 40 年に廃村となりましたが、治田峠を越えての伊勢との交易や、蛇谷の銀山採掘の村として、江戸時代は栄えていました。
	その他	「花の百名山」、「新・花の百名山」、「日本三百名山」に選定されています。三重県側の藤原鉞山では現在も石灰岩が採掘され、山容が大きく変化しています。
<p>コース</p> <p>茨川集落跡～迷い尾根～県境稜線～多志田山西面～藤原岳展望丘（往復）</p> <p>< 登り約 3 時間、下り約 2 時間 30 分 ></p>		
登山口	駐車場	
茶屋川林道茨川線 茨川集落跡	茨川集落跡手前の林道	
<p>地形的特徴</p> <p>山頂部は東側になだらかな台地を、西側は茶屋川に向け急な斜面を形成しています。</p>		
<p>難易度（ 初心者、 中級者、 上級者； は 0.5 を意味します）</p>		
注意事項、危険な箇所、備考	<p>茨川集落跡から治田峠までの伊勢谷道は痛みが激しいため、集落跡裏手からの通称「迷い尾根」のコースを記載しています。このコースは、県境稜線の「治田財産区管内 登山道案内図」付近で縦走路に合流します。</p> <p>多志田山の西側山腹を横切る箇所が足元悪く注意が必要です。</p> <p>茶屋川林道は舗装されておらず、土砂崩れの恐れもあるので注意が必要です。また林道終点から茨川集落跡へは車では行けません。</p>	

りゅうがだけ
竜ヶ岳 (1,099m)

風に揺れるササに覆われた 360 度の眺望

特徴	自然環境	<p>竜ヶ岳付近を境として、北が石灰岩質、南が花崗岩質と異なり、それにと もなって植物にも変化が見られます。</p> <p>山頂部はクマザサに覆われ、道中は 5 月初旬に咲くツツジの仲間シロヤ シオが非常に美しく、「羊の群れ」と形容されます。</p> <p>また、秋の紅葉、冬の樹氷もきれいです。</p>
	歴史文化	<p>竜神を祀って雨乞祭をした故事から、竜ヶ岳と名付いたと言われていま す。登山口にあたる石樽峠は、永源寺と伊勢とを結ぶ重要な街道でした。</p>
	その他	<p>山頂からの 360 度の眺望は素晴らしいです。中腹にある「重ね岩」は、 絶好の休憩ポイントです。</p>

コース

石樽峠～表道登山道～竜ヶ岳（往復）

< 登り約 1 時間 40 分、下り約 1 時間 20 分 >

登山口

石樽峠

駐車場

石樽峠付近

地形的特徴

石樽峠からは、基本的に県境稜線を歩きます。山頂の北斜面（石灰岩側）と南斜面（花
崗岩側）で植生が異なるため、景観の違いが楽しめます。

難易度（ 初心者、 中級者、 上級者； は 0.5 を意味します）

注意事項、 危険な箇所、 備考

重ね岩から急登後、山頂までの区間に、亀裂が数箇所見られます。雨季や
豪雨時には、十分な注意が必要です。

登山口の石樽峠へは、東近江市側の旧国道 421 号（石樽トンネル手前を左
折）を利用します（冬期は通行止）。峠からは、伊勢湾を見渡すことができ
ます。

市道東近江いなべ線（旧国道 421 号）は、落石や崩落に注意が必要です。
また、三重県側へは通り抜けができず、三重県側からの通行は通年でできま
せん。

しゃかがだけ
釈迦ヶ岳 (1,092m)

歴史ロマンの道を辿れば、伊勢湾を望む山稜へ

特徴	自然環境	八風谷や白滝谷は、花崗岩地帯に夏緑広葉樹を主体とした二次林が発達し、季節感が豊かで、谷川を眺めながらの登山となります。 県境稜線は、花崗岩が風化した尾根で、雨乞岳をはじめ、イブネ、クラシ、銚子ヶ口や、三重県側は伊勢湾を眺望しながらの登山が楽しめます。
	歴史文化	伊勢国風土記に「八風」の名が登場するなど、非常に古くからの歴史があるのが八風街道です。 八風峠越えは、古来より近江と伊勢、東海地方との商品の運搬や、戦国武士の往来などに利用されてきた歴史ある街道で、この峠を陶器や不浄物を所持して通行すると暴風が吹き荒れると言い伝えられています。
	その他	釈迦ヶ岳の頂上からは、三重県側を望むことができますが、東近江市側は樹木に覆われているため眺望できません。

コース

八風谷橋～八風峠～釈迦ヶ岳（往復）

< 登り約 3 時間 30 分、下り約 3 時間 >

石樽峠～三池岳～八風峠～釈迦ヶ岳（往復）

< 登り約 4 時間 10 分、下り約 3 時間 10 分 >

登山口

八風谷橋、 石樽峠

駐車場

八風谷橋付近林道、 石樽峠付近

地形的特徴

三重県側は切り立つ渓谷の地形であるのに対して、滋賀県側からは「お釈迦様が横になっている姿」と形容されるような地形です。

難易度（ 初心者、 中級者、 上級者； は 0.5 を意味します）

（コース とも）

注意事項、
 危険な箇所、
 備考

八風峠までの沢筋では、増水時に注意が必要です。
 県境稜線を歩く場合は、強風時に注意が必要です。
 石樽峠からのコースでは、尾根でのガレ場に注意が必要です。

ごさいしょだけ
御在所岳 (1,212m)

白い岩と美しいエメラルドグリーンの源流、鈴鹿奥座敷の山

特徴	自然環境	<p>神崎川の源流域にあたり、白く明るい花崗岩が主体の山で、滋賀県側は神崎川の美しい流れが見られ、三重県側は巨大な岩を張りめぐらし要塞のような風格を持った山容です。</p> <p>タテヤマリンドウやツツジの仲間アカヤシオなど多くの花が楽しめる春から、アキアカネ(アカトンボの一種)が乱舞する夏、紅葉の秋、樹氷の冬まで、年間を通じて見どころがあります。</p>
	歴史文化	<p>東近江市市原野町から三重県菰野町千草を結ぶ千草街道は、戦国時代に信長も通った歴史ある街道であり、近江と伊勢の深いつながりを感じます。</p>
	その他	<p>「関西百名山」、「日本二百名山」に選定されています。</p> <p>昭和 34 年には御在所ロープウェイが開業し、現在も四季を通して多くの観光客が訪れています。御在所岳東面の藤内壁では戦前よりロッククライミングが盛んに行われ、現在も多くのクライマーが全国から集まります。</p>
<p>コース (1泊2日)</p> <p>1日目：甲津畑町～千草街道～杉峠～御池鉦山跡(テント泊) <登り約4時間></p> <p>2日目：御池鉦山跡～神崎川源流～上水晶谷～国見峠～御在所岳(復路 甲津畑町まで) <登り(山頂まで)約3時間40分、下り(山頂から登山口まで)約5時間30分></p>		
登山口	甲津畑町 渋川沿いの林道	<p>駐車場</p> <p>登山口周辺林道</p>
<p>地形的特徴</p> <p>東近江市側からは、標高 1,042m の杉峠を越えるなどアップダウンが多く、また行程も長くなります。</p>		
<p>難易度 (初心者、 中級者、 上級者 ; は 0.5 を意味します)</p>		
注意事項、危険な箇所、備考	<p>溪流沿いのコースでは、増水に対する注意が必要です。</p> <p>テント泊は、設備の無い山中での泊りであることから、十分な装備が必要であるとともに、自然環境の保全にも配慮して行いましょう。</p>	

あまごいだけ
雨乞岳 (1,238m)

雨ふらしの神々が宿る鈴鹿第二の高峰、神秘の山

特徴	自然環境	<p>神崎川の源流域にあたり、東雨乞岳～雨乞岳までクマザサに覆われた広大な山頂群です。</p> <p>雨乞岳山頂付近には、大峠の澤と呼ばれる池があり、モリアオガエルが生息するようです。</p> <p>千草街道には、イヌシデの巨木や、ミズナラの大木があります。</p>
	歴史文化	<p>山頂付近の大峠の澤(池)は、山の名の通り雨乞いの神事に使われたと言われています。</p> <p>千草街道には、蓮如上人旧跡や織田信長の千草越えなど多くの歴史があり、また向山鉾山や御池鉾山等があった最盛期には、山中に小学校までありました。</p>
	その他	<p>雨乞岳は鈴鹿山脈第二の高峰で、県境に連なる山々からは少し離れた独立峰的な要素があり、中央鈴鹿の山々の展望を楽しむことができます。</p>
<p>コース</p> <p>甲津畑町～千草街道～杉峠～雨乞岳(往復)</p> <p>< 登り約 4 時間、下り約 3 時間 ></p>		
登山口	甲津畑町 渋川沿いの林道	<p>駐車場</p> <p>登山口周辺林道</p>
<p>地形的特徴</p> <p>雨乞岳から東雨乞岳のクマザサの広がる山容や、清水頭へ伸びる西尾根など、一帯は変化に富んだ素晴らしい山頂群です。</p>		
<p>難易度(初心者、 中級者、 上級者 ; は 0.5 を意味します)</p>		
注意事項、危険な箇所、備考	<p>溪流沿いのコースでは、増水に対する注意が必要です。</p> <p>背丈の高いササが茂るところは、道迷いに注意しましょう。</p> <p>東雨乞岳からの眺望が素晴らしいです。</p>	

イブネ (1,160m)

ふかふかの苔の絨毯に覆われた山頂、鈴鹿の雲ノ平

特徴	自然環境	以前はクマザサに覆われ、見通しの利かない山頂でしたが、現在はササがなくなり、苔の広がる庭園のような台地になっています。 この苔の広がる山頂部の景観は、鈴鹿の山々の中でも、一種独特の雰囲気を持っています。
	歴史文化	特徴的な山名ですが、その由来は分かっていません。 雨乞岳と同様に、千草街道は多くの歴史を感じさせてくれます。永源寺地区まちづくり協議会では、毎年春に、甲津畑町から杉峠を越え、根ノ平峠、三重県菰野町千草への全長約 15km を歩く「千草街道を往く」を実施しており、募集開始直後に定員に達する人気企画となっています。
	その他	鈴鹿の最深部の山のひとつです。すぐ近くにあるクラシと同様、その特徴的な山名と相まって、鈴鹿の中でも近年人気が出てきています。 道中にある佐目峠は、『鈴鹿の山と谷 4』で「鈴鹿の峠としては五指に入る風情をもっている。」とあります。
コース (1泊2日) 甲津畑町～千草街道～杉峠～佐目峠～イブネ (往復) < 登り約 4 時間 40 分、下り約 3 時間 10 分 >		
登山口	甲津畑町 渋川沿いの林道	駐車場 登山口周辺林道
地形的特徴 イブネから、クラシ、銚子 (「銚子ヶ口」とは異なります) をめぐるコースは、高低差も少なく、素晴らしい散策を楽しむことができます。		
難易度 (初心者、 中級者、 上級者 ; は 0.5 を意味します)		
注意事項、危険な箇所、備考	溪流沿いのコースでは、増水に対する注意が必要です。 山頂付近の台地は高低差が少ないため、ガスのかかっている時は迷いやすいので注意が必要です。	

ちょうしがぐち
銚子ヶ口 (1,077m)

のどかな山里から、鈴鹿の山々に包まれ風がおる山頂へ

特徴	自然環境	<p>山麓部は植林地が多いですが、登るに連れて夏緑広葉樹を主体とした二次林が豊かになり、四季折々の景観が楽しめます。</p> <p>鈴鹿山脈は主に北部が石灰岩、南部が花崗岩で成り立っていますが、銚子ヶ口西側の佐目子谷は輝緑凝灰岩が存在する険しく複雑な渓谷を形成し、これが鈴鹿の多種多様な動植物を育てています。</p>
	歴史文化	<p>かつて、枉葉尾町の民家の屋根材を確保するため、山頂付近がカヤ場として維持されていました。</p> <p>『近江国神崎郡枉葉尾村誌』では、銚子ヶ口について、「雑木蒼々として薪炭を産す。要山なり。」とあり、昔から人々の暮らしと深い関わりのあった山であることが分かります。</p>
	その他	<p>山頂近くにある東峰からの眺望が良く、山頂南西に位置する「水舟ノ池」も見ごたえがあります。近くにある天狗岩には、イヌワシがとまると言われています。</p>

コース

枉葉尾町～北尾根～須谷川上部出合～東峰～銚子ヶ口（往復）

< 登り約 2 時間 50 分、下り約 2 時間 >

登山口

枉葉尾町 ミニ水車小屋付近

駐車場

ミニ水車小屋付近、神崎橋周辺

地形的特徴

銚子ヶ口は東近江市内から見るができます。その山頂は木々に囲まれています、東峰からは東近江市の名山が一望できます。

難易度（ 初心者、 中級者、 上級者； は 0.5 を意味します）

注意事項、
 危険な箇所、
 備考

銚子ヶ口山頂から水舟の池までは、ガスが出ると迷いやすいので注意が必要です。

にほん
日本コバ (934m)

沢と岩場と湿地帯、その名や窟に謎多き山

特徴	自然環境	沢筋を歩きながら登ると、カツラの大木や、石灰岩による洞窟などがあります。また、山頂付近には湿地帯があるなど、多様な自然環境を楽しむことができる山です。
	歴史文化	「奇人の窟」、「豹の穴」など、登山道途中に特徴的な名前の場所がありますが、いずれもはっきりとした由来は分かっていません。 山頂から政所道の方面に向かうと、「盤石の丘」と呼ばれる眺望のよい場所があります。永源寺町時代に編纂された『小椋の山里』には、「日本コバに続く『ばんぢやく』というところには、昔から大きな蛇がいたと言う」と記されています。
	その他	非常に特徴的な山名ですが、名由来は明確ではありません。一説では、2回(2本)休憩(コバ)して山頂に至るため、その名がついたとも言われています。

コース

如来堂～藤川谷～政所道出合～日本コバ(往復)

< 登り約 2 時間 10 分、下り約 1 時間 30 分 >

登山口

如来堂

駐車場

如来堂付近

地形的特徴

国道 421 号からのぞむことができますが、どこが山頂か分かりにくいほど山頂部が大きな山です。藤川谷のコースは、何箇所か沢を渡りながらの登山となります。

難易度(初心者、 中級者、 上級者; は 0.5 を意味します)

注意事項、 危険な箇所、 備考

沢を渡るコースがあるので、増水時には十分な注意が必要です。また、倒木の多い所や、滑りやすい岩場では慎重に進みましょう。
山頂部は広大な眺望は期待できません。また、平坦な地形のため、迷いやすいので注意しましょう。

てんぐどう
天狗堂 (988m)

天狗が一堂に会する、秀麗な山容の鈴鹿富士

特徴	自然環境	鈴鹿山脈のほぼ中央部に位置するこの山は、富士山のように独立峰的にそびえています。地形的に上昇気流が発生しやすく、イヌワシやクマタカが旋回上昇することもあります。山頂部には大きな岩が多く、岩間を縫うようにたくさんのシャクナゲが生え、5月初旬には美しい花を楽しめます。
	歴史文化	山容が険しく、いかにも天狗が棲んでいそうな大岩があり、天狗が一堂に会する山と言われます。また、山頂近くには天狗が将棋をさすという岩があるそうです。 山麓の君ヶ畑町は、蛭谷町と共に木地師の里として知られ、大皇器地祖神社、高松御所金龍寺（御池大龍権現・天狗堂大僧頭権現）があります。
	その他	山頂の大岩からの眺望は素晴らしく、鈴北岳・御池岳・藤原岳・静ヶ岳・竜ヶ岳が眼前に広がります。 天狗堂から稜線を北上しサンヤリまで行くと、ブナ林があり、シャクナゲが群生します。サンヤリから見た御池岳ボタンプチの眺めも見事です。
コース 君ヶ畑町 大皇器地祖神社～天狗堂（往復） < 登り約 2 時間、下り約 1 時間 30 分 >		
登山口	君ヶ畑町 大皇器地祖神社 社務所裏	駐車場 君ヶ畑バス停付近（バスの妨げにならないよう）
地形的特徴 天狗堂は、御池川の流域を構成する稜線上に位置しますが、独立峰的にそびえる山なので、岩が点在する最後の登りは急勾配です。		
難易度（ 初心者、 中級者、 上級者； は 0.5 を意味します）		
注意事項、危険な箇所、備考	登山口からすぐに急な登りが続きます。山頂付近も勾配がきつく、また岩を乗り越える場所もあるため注意が必要です。 急勾配のところでは、特に下りに注意が必要です。	